

2022年度 事業報告書

事業年度 自 2022年 4月 1日
(第13期) 至 2023年 3月31日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
東京都中央区入船二丁目10号8番

(A001891)

2022年度事業報告書目次

■協会の概要	
1. 当法人の現況に関する事項	1
2. 役員等に関する事項	6
3. 会計監査人に関する事項	7
4. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議	7
5. その他の重要事項	9
■公益目的事業1. ゴルフ競技会開催事業	
1. 開催競技及び競技参加者数	10
2. 競技の改善点	11
3. 競技開催実績	12
4. 他団体競技のシード権の追加	19
5. 機関紙の発行	21
■公益目的事業2. ゴルフ普及振興事業	
1. セミナー・研修事業	22
2. 交流・協力事業	22
3. 調査・研究事業	23
4. 他団体との協賛・後援	23
■その他の事業1. 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業	
1. ハンディキャップ普及振興事業	24
2. JGAコースレート査定事業	25
■その他の事業2. 助成金事業	26
■むすび	26

事業報告書の附属明細書目次

■役員以外の法人等の業務執行理事との重要な兼職の状況	27
■その他の記載事項	27

監事の監査報告事項

■監事の監査報告事項	28
------------	----

■協会の概要

1.当法人の現況に関する事項

(1)事業の経過及びその成果

単位:千円・%

事業別	予算額	決算額	達成率
事業費			
公益目的事業	139,999	136,826	97.7
その他の事業	79,692	60,403	75.8
法人会計	11,876	5,759	48.5
合計	231,567	202,988	87.6
経常増減額			
公益目的事業	▲8,810	▲8,929	
その他の事業	10,139	14,902	
法人会計	▲423	5,823	
合計	906	11,796	

注1) その他の事業(定款第4条):ハンディキャップ普及振興事業並びに助成金事業

(2)資金調達等の状況

- ①資金調達 :なし
- ②設備投資 :なし

(3)直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:千円

区分	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 (当該事業年度)
経常増減の部	▲20,083	3,931	11,796
経常外増減の部	0	▲400	0
正味財産増減額	▲20,083	3,531	11,796
正味財産期末残高	59,541	63,072	74,868

- ①資金調達 :なし
- ②設備投資 :なし

(4)主要な事業内容

事業	主要な内容
公益目的事業(定款第4条) 【公益目的事業 1】 ゴルフ競技会開催事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、アマチュアゴルファーによるゴルフ競技会を開催して、生涯スポーツのゴルフの普及振興を図る事業
公益目的事業(定款第4条) 【公益目的事業 2】 ゴルフ普及振興事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、ゴルフに関するセミナー・研修、交流・協力、調査・研究事業を行い、生涯スポーツであるゴルフの普及振興を図る事業
その他の事業(定款第4条) 【収益事業】 ハンディキャップ普及振興事業	ゴルフは老若男女、年齢、性別を問わず同じ土俵(同一条件)で楽しめるスポーツである。そのための前提となる公平な統一ハンディキャップの普及振興事業、及びその前提となるコースレート査定事業
その他の事業(定款第4条) 【助成金事業】	ゴルフの普及振興を目的に活動する団体を支援する観点から助成する事業

(5) 事業体系

事業	実施事業
【公益目的事業 1】 ゴルフ競技会開催事業	1.スクラッチ競技
	(1)全日本アマチュアゴルフフェーズ選手権 (アマ選・女子アマ選)
	(2)全日本シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権 (シニア、女子シニア、ミッドシニア、グランドシニア、 スーパーシニア)
	(3)全日本ミッドアマチュアゴルフフェーズ選手権 (ミッドアマ、女子ミッドアマ)
	2.アンダーハンディ競技
	(1)PGSスポンサー杯/PGSハンディ杯
	(2)PGSドリーム・エイジゴルフ大会 (3)その他(月例杯、クラブ対抗戦、スロープレート競技等)
【公益目的事業 2】 ゴルフ普及振興事業	1. セミナー・研修事業
	2. 交流・協力事業
	3. 調査・研究事業
【その他の事業 1】 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業	1. 公平な統一ハンディキャップの普及振興事業
	2. コースレート査定事業
【その他の事業 2】 助成金事業	1. ゴルフの普及振興を目的とした助成金事業

(6) 主たる事務所の状況

名称	所在地
公益社団法人日本パブリック ゴルフ協会事務局	東京都中央区入船2-10-8 オーク入船ビル4階

(7) 主要な借入先及び借入額

借入先	借入額	償還期限等
なし		

(8) 重要な契約に関する事項 : なし

(9) 会員に関する事項

① 会員数

単位: 団体

種類	前年度末	当年度末	増減
正会員	58	54	▲4
賛助会員	9	16	+7
合計	67	70	+3

② 地区別正会員数

単位: 団体

東日本地区	中部日本地区	西日本地区	合計
19	8	27	54

③入退会の状況

単位:団体

	区 分	会員数	会員名
退 会	正会員	4	うぐいすの森ゴルフクラブ水戸
			昭和の森ゴルフコース
			小淵沢カントリークラブ
			西神戸ゴルフ場
入 会	賛助会員	7	株式会社今野食品
			特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構
			葵コーポレーション株式会社
			楽天グループ株式会社
			Terra Moters 株式会社
			株式会社 STJ レンテック
			特定非営利活動法人日本ジュニアゴルファー育成協議会

④会員数の推移

単位:団体

年 度	正会員			賛助会員		
	入 会	退 会	会員数	入 会	退 会	会員数
2016年度	1	4	80	0	0	11
2017年度	0	4	76	0	1	10
2018年度	1	1	76	1	0	11
2019年度	2	12	66	0	2	9
2020年度	0	4	62	0	1	8
2021年度	0	4	58	1	0	9
2022年度	0	4	54	7	0	16

⑤正会員の變動

ア. 運営会社変更 :なし

イ. 会員名称変更

会員名	旧名称	変更日
紫カントリークラブ あやめコース	紫あやめ36	2022年4月1日
小松ゴルフ倶楽部ーパブリックコースー	小松パブリック	2023年3月1日

(10)職員に関する事項

2022年3月末現在

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
部長	中村 知則	2009年 4月 1日	競技担当	常 勤
課長	中村 敦史	2014年 8月21日	競技担当	常 勤
一般事務	小路 美智代	2008年 5月 1日	経理・総務担当	常 勤
一般事務	田坂 陽介	2018年11月 1日	競技・総務担当	常 勤

(11)役員会等に関する事項

①社員総会

定時社員総会	開催日	開催場所
	2022年 6月21日	マイステイズ新大阪コンファレンスセンター (大阪府)
(議事事項)		
決議事項	第1号議案 定款の変更(案)承認の件	
	第2号議案 役員選任(案)承認の件	
	第3号議案 2021年度事業報告(案)承認の件	

報告事項	第4号議案	2021年度財務諸表及び附属明細書並びに 財産目録(案)承認の件	
	第5号議案	役員報酬総額(案)承認の件	
	第1号報告	2022年度事業計画の件	
	第2号報告	2022年度正味財産増減予算の件	
	第3号報告	PGS新方針の件	
臨時社員総会		開催日	開催場所
		2022年11月10日	安保ホール(愛知県)
(議事事項)			
決議事項	第1号議案	定款変更(案)承認の件	
	第2号議案	理事選任(案)承認の件	

②理事会

	開催日	開催場所
第1回	2022年 5月30日	みなし決議
第2回	2022年 6月21日	マイステイズ新大阪コンファレンスセンター (大阪府)
第3回	2022年 6月21日	マイステイズ新大阪コンファレンスセンター (大阪府)
第4回	2022年10月 7日	みなし決議
第5回	2022年11月10日	安保ホール(愛知県)
第6回	2022年11月21日	みなし決議
第7回	2023年 3月 7日	昭和の森ゴルフコース(東京都)
第8回	2023年 3月28日	みなし決議

③全国運営委員会

	開催日	開催場所
第1回	2022年 8月19日	WEB 会議
第2回	2023年 2月10日	WEB 会議

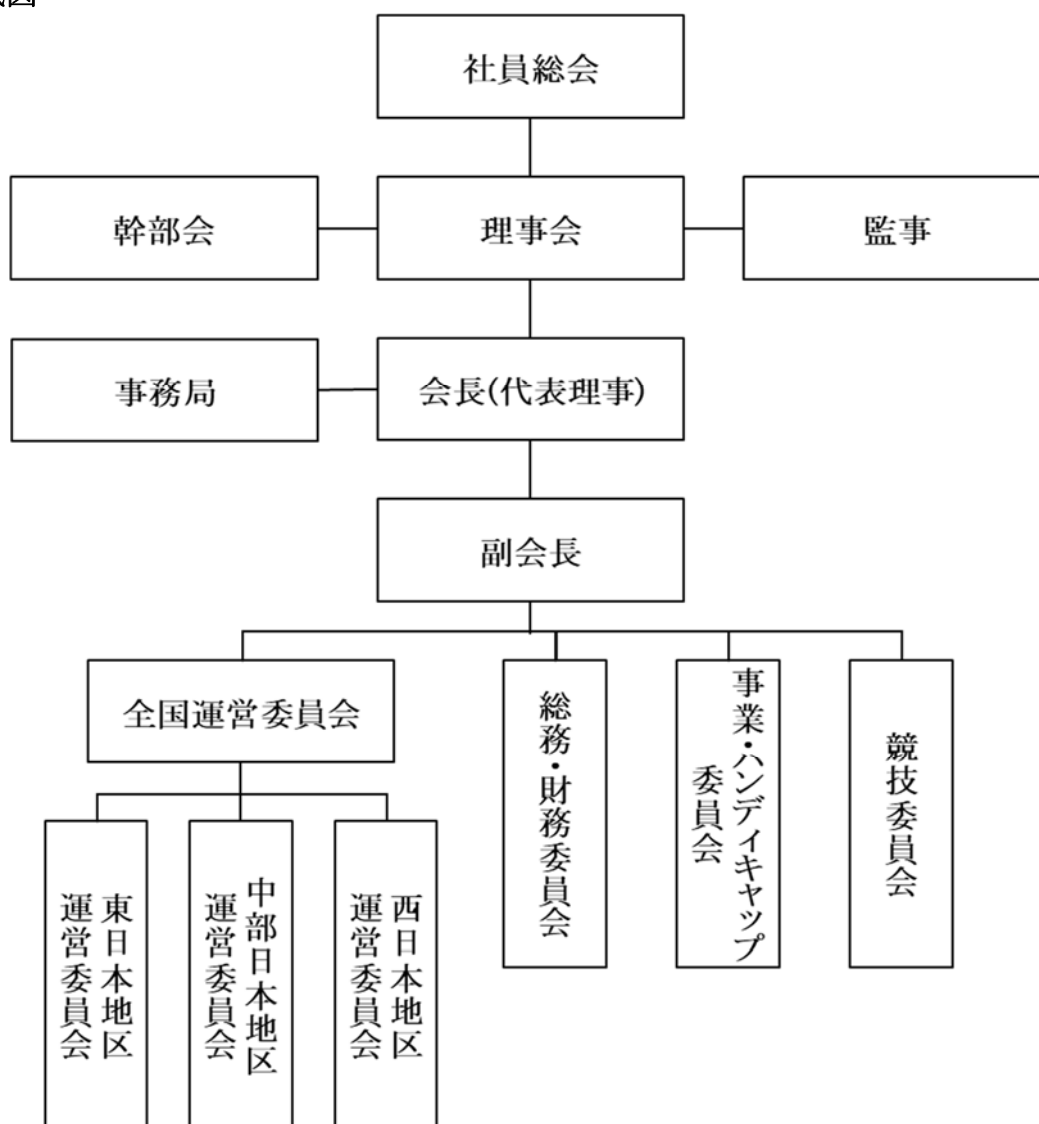
④スポンサー会議

	実施日	開催場所
第1回	2022年10月 6日	銀座フェニックスプラザ(東京都)

⑤会計監査

	実施日
第1回	2022年 5月23日

(12)組織図



(13)許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	許可等年月日	備考
なし			

(14)株式の保有状況 :なし

(15)対処すべき課題

①競技参加者数の拡大

2022年度選手権競技の参加人数は、11,496名となり、新型コロナウイルスの影響がある中ながらも前年度比で1,131名(+10.9%)の増加となった。

一方で、アンダーハンディ競技は、全地区スロープレートを採用し開催したことで、前年度比33名(0.5%)のプラスとなった。また、その他競技でも開催数が増加出来たことにより、全競技参加者数は29,193名(前年度比+8.6%)となった。

競技参加者数の拡大は引き続き重要な課題である。今後も、徹底した安全対策を取り、競技会を開催していく。また、メイン競技のアマチュアゴルフフェーズ選手権をはじめとする競技参加者数減少に歯止めをかけるため、開催会場のさらなる拡大を目指す。

②JGA公認ハンディキャップ取得者の拡大

当協会のJGA公認ハンディキャップ取得者は約1万3千名で、高額なゴルフ会員権の取得を

必要とせず、誰でも低廉な登録料で手軽に取得できる点から、多くのアマチュアゴルファーの支持を得ているが、取得者は減少傾向にある。

JGA公認ハンディキャップの普及は、全てのアマチュアゴルファーと、ゴルフ普及のための活動に極めて重要である。また、ハンディキャップ取得者の拡大には、同時に取得したハンディキャップが使用出来る競技会を、数多く提供することが効果的であると考え、同一競技を同日開催出来る、スロープレートによるアンダーハンディ競技を、2021年度より全地区で開催して競技参加者の増加に繋げてきた。また、全日本スロープレートアンダーハンディ競技を、スポーツ庁長官杯第6回ゴルフフェスタ全国大会(公益財団法人日本ゴルフ協会との共催)を兼ねて、9月に全国18コースで開催し、95名の参加を得た。

「全日本スクラブルアマチュアゴルファーズ選手権」、「PGSチャリティー東日本パブリックダブルスゴルフ選手権」、「PGS中部日本ダブルス選手権競技」に4,763名が、ハンディキャップ取得者を対象に2022年度に新設したクラス別スクラッチ競技「PGSチャリティー東日本スクラッチアマチュアゴルファーズ選手権」、「PGS中部日本ガチごる5」には226名が参加した。また、社会人ゴルファーを対象とした「全日本ビジネスゴルファーズ選手権」には1,088名(前年度比+488名)が参加した。

③正会員・賛助会員の拡大

正会員100団体の実現は長年の課題であるが、直近の推移は2009年度の90団体をピークとして、2022年度末には54団体まで減少した。

係る状況から2021年度第3回幹部会(2022年3月8日開催)に於いて、新規加盟コース勧誘について協会の方針を確認し、事務局を中心とした積極的な勧誘活動を開始した。

また、賛助会員についても正会員同様に増加を図り、協会組織力強化を目的とし、2022年度第5回理事会(2022年11月10日開催)に於いて、一律の年会費から入会し易い口数制度に変更し、事務局を中心に積極的な勧誘活動を開始した結果、7社が入会に至った。

2. 役員等に関する事項

(1) 理事

2023年3月末現在

役職名	氏名	区分	任期	常勤・非常勤	報酬等
会長(代表理事)	池田 育嗣	代表理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
副会長 事業・ハンディキャップ委員会委員長	石井 信成	副会長	2022.6～2024.6	非常勤	無償
副会長 競技委員会委員長	加藤 義孝	副会長	2022.6～2024.6	非常勤	無償
副会長 総務・財務委員会委員長	西村 潔	副会長	2022.6～2024.6	非常勤	無償
総務・財務委員会副委員長	中村 昭広	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
総務・財務委員会副委員長	平嶋 豊三	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
総務・財務委員会副委員長	橋本 誠司	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
専務理事 総務・財務委員会委員 事業・ハンディキャップ委員会委員 競技委員会委員	林 一郎	専務理事	2022.6～2024.6	常勤	有償
事業・ハンディキャップ委員会副委員長	深山 泰司	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
事業・ハンディキャップ委員会副委員長	濱口 正明	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
事業・ハンディキャップ委員会副委員長	杉本 充	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
事業・ハンディキャップ委員会委員	平川 義和	理事	2022.11～2024.6	非常勤	無償
事業・ハンディキャップ委員会委員	山下 昌伸	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償

事業・ハンディキャップ委員会委員	六車 洋二郎	理事	2022.6～2022.11	非常勤	無償
競技委員会副委員長	宇野 義大	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
競技委員会副委員長	風間 利夫	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
競技委員会副委員長	樋口 光平	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
競技委員会委員	小柴 雅央	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
	伊藤 哲夫	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
	木村 妙子	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
	小林 弘実	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
	濱野 周泰	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
	平山 伸子	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償
	雪野 智世	理事	2022.6～2024.6	非常勤	無償

注)理事の他の法人等の代表状況等、並びに兼職状況は「事業報告の附属明細書」に記載した。

(2) 監事

2023年3月末現在

	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
監事	根津 淳	2022.6～2024.6	非常勤	無償
監事	六車 洋二郎	2022.11～2024.6	非常勤	無償
監事	中村 一雄	2022.6～2024.6	非常勤	無償

以上3名

注)監事の他の法人等の代表状況等、並びに兼職状況は「事業報告の附属明細書」に記載した。

(3) 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
専務理事	1名	非公開(個人情報)	常勤

3.会計監査人に関する事項

当協会は、会計監査人の設置義務なし(公益法人認定法第5条第12号)

4.業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議

(1)2016年度第2回理事会(2016年6月23日開催)にて決議

(2)理事会決議の内容

企業統治体制「業務の適正を確保するための体制等の整備について」

①企業統治体制の採用理由

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下、一般法という)(第90条第4項5)は、「業務の適正を確保するための体制」、いわゆる企業統治体制(内部統制システム)の構築を定めている。当協会は、ゴルフの普及振興という事業活動目的の下、社会からの信頼を得ることの重要性を認識し、適法・適正かつ効率的な事業活動を遂行するため、一般法および法務省令(法人法施行規則第14条)に基づき、「業務の適正を確保するための体制」を以下の通り定める。

②業務の適正を確保するための体制の概要

業務執行に関しては、会長(代表理事)を含む、各事業部門を統括する常務理事があたっており、理事会の機能及び責任を明確にするとともに、急激な事業活動環境の変化に迅速に対応するため、当該企業統治の体制を採用する。

当協会の理事会は原則として年3回開催し、必要に応じて臨時理事会を開催しつつ、重要事

項の決定、業務執行状況の監督を行っている。さらに、一般社員(会員)と利益相反が生じる怖れのない外部理事、並びに外部監事を確保し、事業活動の妥当性の監督強化を行っている。

監事については、会計業務に精通した者で構成されており、各監事及び内部監査機能を有機的に融合させ、企業統治の適正性の確保を図っている。なお、会計業務は外部の会計事務所に委託し、適正性を維持している。

以上により、現状の体制によって事業運営の透明性の確保、理事の第三者説明責任の遂行といった、企業統治の基本原則を順守できるものとする。

③「業務の適正を確保するための体制等の整備」の内容

ア. 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

(ア) 理事会を原則として年3回開催することに加え必要があるときは随時開催し、重要な業務執行に関する意思決定を行うとともに、理事の職務執行を監督する。

(イ) 法令等の遵守と企業倫理の徹底は事業活動の原点であるとの認識のもと、行動規範およびコンプライアンス規程を制定する。その内容について会長(代表理事)、並びに各理事が職員への周知を図り、法令遵守をあらゆる事業活動の前提とすることを徹底する。

(ウ) 財務報告の適正性を確保するため、会長(代表理事)および理事は職員に対し、適正な財務諸表の作成が極めて重要性を有するものであることを、あらゆる機会に認識させるよう努めるものとする。また、財務諸表作成のプロセスにおいて、虚偽記載並びに誤謬等が生じないように各職員が相互に牽制するシステムを構築するものとする。

(エ) 監事は必要に応じて内部監査を行うことができるものとする。監査を実施した場合は、遅滞なく結果を会長(代表理事)に報告する。

イ. 理事の職務の執行に係る情報の保管および管理に対する体制

文書管理規程を定め、理事の職務の執行に係る理事会の議事録、決裁書類並びに契約書類は、文書または電磁的記録(以下、「文書等」という)により、それぞれ法令または規程に定める期間保存・管理する。

ウ. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

(ア) 当協会を取り巻く様々な潜在的リスクについては、それらのリスクを分析しその特性に応じた対応策を講じるとともに、定期的にその有効性について評価し必要に応じて見直しを行う。

(イ) 各理事は、自らの職務分掌範囲のリスク管理について責任を持つとともに、協会全体に及ぶリスクに対しては、必要に応じて専門委員会を設置し総合的な対応を図る。

エ. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

定例の理事会を年3回開催するほか、必要に応じて臨時理事会を開催し、重要事項の決定および職務執行に関する基本事項の意思決定を機動的に行う。また、理事および職員が業務分掌・職務権限規程に基づき、職務の執行が適正かつ効率的に行われる体制をとるものとする。

オ. 職員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

(ア) 服務規程、コンプライアンス規程等を整備し、職員の法令・企業倫理の遵守を徹底する。

(イ) 業務における適法・適正な手続き・手順を明示した規程類を整備し運用する。

(ウ) 適法・適正な業務運営が行われていることを確認するため、内部監査機能による監査を実施する。

カ. 監事とその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項

当協会において、監事の職務を補助すべき職員は当面配置しない。但し、監事会から当該職員の配置を求められた場合は、専任の担当者を配置し、かつ専任者の独立性を確保する体制とする。

キ.監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性に関する事項

(ア) 監事補助スタッフの職務執行については、理事の指揮命令からの独立性を確保する。

(イ) 監事補助スタッフの人事に関する事項については、必要に応じて監事の意見を尊重する。

ク.理事および職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制

(ア) 理事および職員は、当協会に重大な影響を及ぼす事項、内部監査の実施状況に関する事項等の内容を、監事に速やかに報告する。

(イ) 監事は必要に応じて監事会を開催し、業務執行理事並びに理事、その他使用人から随時個別にヒアリングする機会を設けることができるものとする。

(ウ) 重要な会議には監事の出席を求めるとともに、議事録を作成する場合は、これを監事に送付する。

ケ.監事の監査が実行的に行われることを確保するための体制

(ア) 監事は業務執行状況を把握するため、理事会に出席するほか、必要に応じ重要な会議に出席できる。

(イ) 必要に応じて会長(代表理事)と監事との意見交換を実施するなど、当協会の業務の適正性確保のため必要な措置を講じることができるものとする。

5.その他の重要事項 :なし

■公益目的事業1 ゴルフ競技会開催事業

1. 開催競技及び競技参加者数

(1) 競技参加者数

競 技		2021年度	2022年度	前年度比 (人数) (%)		
＜スクラッチ競技＞						
①アマ選 (アマ選、 女子アマ選)	男女別	男子	2,414	2,574	160	6.6%
		女子	363	371	8	2.2%
		計	2,777	2,945	168	6.0%
	地区別	東日本	1,430	1,456	26	1.8%
		中部日本	547	564	17	3.1%
		西日本	795	914	119	15.0%
		全日本シード	5	11	6	120.0%
	計	2,777	2,945	168	6.0%	
②シニア (シニア、女子シニア、 ミッドシニア、 グランドシニア、ス ーパーシニア)	男女別	男子	1,824	1,985	161	8.8%
		女子	385	488	103	26.8%
		ミッドシニア	910	989	79	8.7%
		グランドシニア	864	886	22	2.5%
		スーパーシニア	-	91	91	-
		計	3,983	4,439	456	11.4%
	地区別	東日本	1,560	1,653	93	6.0%
		中部日本	1,214	1,408	194	16.0%
		西日本	1,183	1,353	170	14.4%
		全日本シード	26	25	▲1	▲3.8%
	計	3,983	4,439	456	11.4%	
③ミッドアマ	男女別	男子	3,311	3,768	457	13.8%
		女子	294	344	50	17.0%
		計	3,605	4,112	507	14.1%
	地区別	東日本	1,667	1,996	329	19.7%
		中部日本	838	983	145	17.3%
		西日本	1,089	1,123	34	3.1%
		全日本シード	11	10	▲1	▲9.1%
	計	3,605	4,112	507	14.1%	
◆スクラッチ競技計		10,365	11,496	1,131	10.9%	
＜アンダーハンディ競技他＞						
①スポンサー杯 ／ハンディ杯	ダンロップ杯(含決勝)		3,294	3,824	530	16.1%
	ブリヂストン杯(含決勝)		2,299	2,225	▲74	▲3.2%
	サンレオ杯		878	527	▲351	▲40.0%
	ハンディ杯(含グランドマンズリー)		576	504	▲72	▲12.5%
②ドリーム・エイジ		391	393	2	0.5%	
③その他						
・月例杯(西日本)		3,371	3,222	▲149	▲4.4%	
(中部日本:うきうき旅ゴルフ)		289	259	▲30	▲10.4%	
・クラブ対抗戦(東日本)		357	323	▲34	▲9.5%	

(中部日本)	136	123	▲13	▲9.6%
(西日本)	-	125	125	-
・地区別ダブルス(東日本)	258	214	▲44	▲17.1%
(中部日本)	348	193	▲155	▲44.5%
・クラス別スクラッチ(東日本)	-	189	189	-
(中部日本)	-	37	37	-
・スロープレートアンダーハンディ競技	121	95	▲26	▲21.5%
・スクランブル	3,597	4,356	759	21.1%
・ビジネスゴルファーズ	600	1,088	488	81.3%
◆アンダーハンディ競技他計	16,515	17,697	1,182	7.2%
総計	26,880	29,193	2,313	8.6%

2. 2022年度競技の改善点

(1) 選手権競技決勝上位入賞者記念品の変更

2022年度競技より決勝競技上位入賞者に進呈している賞品をプレー券に変更した。

(2) 選手権競技地区決勝通過者の繰上げ

2022年度競技より、地区決勝通過者の中から出場辞退が生じた場合、下記の通り通過者を順次繰り上げることとした。

①全日本開催地区:全日本開催日の前日まで、カットラインからエントリー人数の15%まで。

②その他の地区:全日本開催日の5日前まで、カットラインからエントリー人数の10%まで。

(3) クラス別スクラッチ選手権の新設

2022年度よりJGA公認ハンディキャップでクラス分けを行い、クラス毎にスクラッチで競うPGSチャリティー東日本スクラッチアマチュアゴルファーズ選手権(ブラッククラス(～9.9)、ブルークラス(10.0～19.9))と、PGS中部日本ガチごる5(G-1(オープン)、G-2(10.0～14.9)、G-3(15.0～19.9)、G-4(20.0～24.9)、G-5(25.0以上))を新設した。

(4) ドリーム・エイジゴルフ大会の年齢別クラス新設

2022年度より東日本・中部日本地区のドリーム・エイジゴルフ大会(個人戦)は、年齢によるクラス分けを行い、競技を開催した。

①シルバークラス:男子65歳～69歳、女子60歳～69歳

②ゴールドクラス:男女70歳以上

(5) スクランブルアマチュアゴルファーズ選手権の変更

2022年度より全日本スクランブルアマチュアゴルファーズ選手権は、チーム戦に地区決勝を新設、ダブルス戦に男女混合クラスを新設し、競技を開催した。

(6) ダブルス選手権の変更

2022年度よりPGSチャリティー東日本パブリックダブルス選手権は、フォアボール(ベストスコア方式)とスクランブルの2部門で開催した。

3. 競技開催実績

(1) 参加資格

競技名	参加資格	年齢資格
＜スクラッチ競技＞		
①アマ選 (アマ選・女子アマ選)	1.ハンディキャップ20.0程度以上が望ましい 2.日本ゴルフ協会ゴルフ規則に規定されたアマチュアゴルファー 3.高等学校までに在学の生徒は、学校長・保護者等責任者の参加許可証の提出が必要	なし
②シニア(シニア)		男子55歳以上
(女子シニア)		女子50歳以上
(ミッドシニア)		男子65歳以上
(グランドシニア)		男子70歳以上
(スーパーシニア)	男子75歳以上 女子60歳以上	
③ミッドアマ		男女とも25歳以上
＜アンダーハンディ競技＞		
①スポンサー杯／ハンディ杯	JGA公認ハンディキャップ取得者 ※西日本地区のみ*PGS 会員限定	なし
②ドリーム・エイジ	なし	男子65歳以上 女子60歳以上
③その他		
・月例杯 (中部日本、西日本)	PGS 会員でJGA公認ハンディキャップ取得者 ※中部日本地区月例杯のダブルペリア部門は PGS 会員並びにJGA公認ハンディキャップ取得を目指す者	なし
・クラブ対抗戦 (東日本、中部日本、西日本)		
・スロープレート競技	JGA公認ハンディキャップ取得者	なし
＜新規ゴルファーの獲得、HDCP普及を目指す競技＞		
・スクランブル ①チーム戦 ②ダブルス戦	①チーム戦:4名1チーム ②ダブルス戦:2名1ペア	なし
・ビジネスゴルファーズ	企業(経営者・団体職員・公務員など含め)に属する社会人	男女とも25歳以上
・クラス別スクラッチ	JGA公認ハンディキャップ取得者	なし

*PGS 会員:JGA 公認ハンディキャップインデックスの取得を目的とした会員組織。
PGS 加盟コースで登録が可能。

(2) 競技の概要

＜スクラッチ競技＞

①全日本アマチュアゴルファーズ選手権

A. 2022年度(第55回)全日本アマチュアゴルファーズ選手権

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	24	11	28	63
参加者数(名)	1,308	488	756	2,552

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	イーストウッドカントリークラブ	5/14(土)～15(日)	174
2.東日本 B	鹿島南蓼科ゴルフコース	5/14(土)～15(日)	178
3.中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	5/16(月)～17(火)	176
4.西日本	ダンロップゴルフコース	5/25(水)～26(木)	181
合 計			709

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	グランドオークプレイヤーズコース	6/14(火)～15(水)	185

B. 2022年度(第21回)全日本女子アマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	9	—	11	20
参加者数(名)	133	—	150	283

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	昭和の森ゴルフコース	4/26(火)～27(水)	54
2.中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	4/25(月)～26(火)	66
3.西日本	米子ゴルフ場	4/27(水)～28(木)	51
合 計			171

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	静岡よみうりカントリークラブ	6/1(水)～2(木)	51

注)女子アマ、グランドシニア：同日同会場で全日本大会を開催

②全日本シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

A. 2022年度(第27回)全日本シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	11	8	19	38
参加者数(名)	801	553	606	1,960

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	ハーモニーヒルズゴルフクラブ	5/18(水)～19(木)	150
2.中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	5/9(月)～10(火)	149
3.西日本	ベアズパウ ジャパン カントリークラブ	5/18(水)～19(木)	162
合 計			461

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	伊深の森カントリークラブ	6/27(月)～28(火)	146

注)シニア、女子ミッドアマ：同日同会場で全日本大会を開催

B. 2022年度(第27回)全日本女子シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	9	6	11	26
参加者数(名)	196	121	146	463

(イ)地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	下館ゴルフ倶楽部	9/21(水)～22(木)	56
2.中部日本	アリジカントリークラブ 花垣コース	9/26(月)～27(火)	51
3.西日本	ベアズパウ ジャパン カントリークラブ	9/28(火)～29(水)	75
合計			182

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	コート・ベール徳島ゴルフクラブ	10/13(木)～14(金)	63

注)女子シニア、ミッドシニア：同日同会場で地区決勝及び全日本大会を開催

C. 2022年度(第18回)全日本ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権

(ア)予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	12	8	15	35
参加者数(名)	331	305	328	964

(イ)地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	下館ゴルフ倶楽部	9/21(水)～22(木)	124
2.中部日本	アリジカントリークラブ 花垣コース	9/26(月)～27(火)	132
3.西日本	ベアズパウ ジャパン カントリークラブ	9/28(火)～29(水)	108
合計			364

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	コート・ベール徳島ゴルフクラブ	10/13(木)～14(金)	128

注)女子シニア、ミッドシニア：同日同会場で地区決勝及び全日本大会を開催

D. 2022年度(第5回)全日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権

(ア)予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	8	8	17	33
参加者数(名)	299	313	249	861

(イ)地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	昭和の森ゴルフコース	4/26(火)～27(水)	126
2.中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	4/25(月)～26(火)	115
3.西日本	米子ゴルフ場	4/27(水)～28(木)	117
合計			358

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	静岡よみうりカントリークラブ	6/1(水)～2(木)	127

注)女子アマ、グランドシニア：同日同会場で全日本大会を開催

E. 2022年度(第1回)中部日本スーパーシニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)男子

部 門	マスターズ クラス	レジェンド クラス	合 計
開催数	1	1	2
参加者数(名)	46	15	61

(イ)女子

部 門	マスターズ クラス	レジェンド クラス	エキスパート クラス	合 計
開催数	1	1	1	3
参加者数(名)	14	9	7	30

③全日本ミッドアマチュアゴルフフェーズ選手権

A. 2022年度(第15回)全日本ミッドアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	33	13	31	77
参加者数(名)	1,834	891	1,019	3,744

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	那須野ヶ原カントリークラブ	7/23(土)~24(日)	177
2.東日本 B	千葉よみうりカントリークラブ	7/30(土)~31(日)	178
3.中部日本	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	7/19(火)~20(水)	158
4.西日本	よみうりゴルフウエストコース	7/27(水)~28(木)	167
合 計			680

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	イーストウッドカントリークラブ	9/10(土)~11(日)	177

B. 2022年度(第15回)全日本女子ミッドアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	8	6	11	25
参加者数(名)	152	80	96	328

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	ハーモニーヒルズゴルフクラブ	5/18(水)~19(木)	31
2.中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	5/9(月)~10(火)	31
3.西日本	ベアズパウ ジャパン カントリークラブ	5/18(水)~19(木)	28
合 計			90

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	伊深の森カントリークラブ	6/27(月)~28(火)	36

注)シニア、女子ミッドアマ : 同日同会場で全日本大会を開催

<アンダーハンディ競技>

①PGSスポンサー杯/PGSハンディ杯

ア. 予選

(ア)開催数

予選数		東日本	中部日本	西日本	合計
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	16	9	18	43
	ブリヂストン杯	10	6	8	24
	サンレオ杯	6	6	2	14
PGSハンディ杯		0	3	0	3
合計		32	24	28	84

(イ)参加者数

		東日本	中部日本	西日本	合計(名)
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	1,444	783	1,205	3,432
	ブリヂストン杯	848	402	627	1,877
	サンレオ杯	243	249	35	527
PGSハンディ杯		—	137	—	137
合計		2,535	1,571	1,867	5,973

イ. 地区決勝

(ア)ダンロップ杯

地区	開催コース	開催日	エントリー人数
東日本	ハーモニーヒルズゴルフクラブ	10/27(木)	85
中部日本	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	11/2(水)	160
西日本	ダンロップゴルフコース	11/8(火)	147
合計			392

(イ)ブリヂストン杯

地区	開催コース	開催日	エントリー人数
東日本	千葉よみうりカントリークラブ	2023/3/9(木)	136
中部日本	アリジカントリークラブ 花垣コース	10/18(火)	57
西日本	北神戸ゴルフ場	11/1(火)	155
合計			348

(ウ)グランドマンスリー

地区	開催コース	開催日	エントリー人数
東日本	千葉よみうりカントリークラブ	11/15(火)	163
中部日本	定光寺カントリークラブ	11/8(火)	115
西日本	つるやカントリークラブ 西宮北コース	11/17(木)	89
合計			367

②PGSドリーム・エイジゴルフ大会

高齢者の健康の保持増進への寄与は当協会の事業目的の一つであり、2009年度より「PGSドリーム・エイジゴルフ大会」がスタートした。競技は男子65歳以上、女子60歳以上のゴルファーを対象とし、年齢ハンディキャップによる18ホールストロークプレーで競い、ゴルフと健康を結びつけたユニークな競技である。また、2011年度よりゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の後援を受けている。2022年度より東日本、中部日本では年齢別に分けたクラスを設け、開催した。

ア. 予選

(ア)開催数

予選数	東日本	中部日本	西日本	合計
個人戦	5(8会場)	8	5	18
ペア戦	1(2会場)	3	—	4
合計	6(10会場)	11	5	22

※18ホール・ストロークプレー

(イ)参加者数

	東日本	中部日本	西日本	合計
個人戦	140	58	110	308
ペア戦	18	8	—	26
合計	158	66	110	334

イ. 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)		
			個人	ペア	合計
東日本	那須野ヶ原カントリークラブ	11/2(水)	28	—	28
中部日本	アリジカントリークラブ 花垣コース	10/24(月)	10	0	10
西日本	大阪パブリックゴルフ場	12/8(木)	21	—	21
合計			59	0	59

※18ホール・ストロークプレー

【参考:PGSドリーム・エイジゴルフ大会チャリティー募金寄贈】

2022年度PGSドリーム・エイジゴルフ大会のチャリティー募金額は125,601円となった。参加者の善意は、予選コース最寄りの社会福祉団体、および公益社団法人日本医師会に寄贈した。

③その他

ア. 月例杯

(ア)PGS西日本月例杯

- A. 開催会場 : 西日本地区会員コース
- B. 参加資格 : PGS会員でJGA公認ハンディキャップの取得者
- C. 競技方法 : 18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
- D. 参加者数

開催数	60開催
参加人数	3,222名(男子:2,941名、女子:281名)

(イ)PGS中部日本月例杯(みんなであきき旅ゴルフ)

◆予選

- A. 開催会場 : 中部日本地区会員8コース
- B. 参加資格 : (a)アンダーハンディ競技 : JGA公認ハンディキャップの取得者
(b)ダブルペリア競技 : PGS会員、及びJGA公認ハンディキャップ取得を目指すアマチュアゴルファー
- C. 競技方法 : (a)18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
(b)ダブルペリア競技
- D. 参加者数

	アンダーハンディ競技		ダブルペリア競技		合計
	男子	女子	男子	女子	
参加人数(名)	145	18	60	6	229

◆決勝

- A. 開催日 :2023年3月16日(木)
- B. 開催会場 :ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部
- C. 参加資格 :予選通過者、及び特典(多回数参加者)によるシード選手
- D. 競技方法 :18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
- E. 参加者数 :男性25名、女子5名、合計30名

イ. クラブ対抗戦

(ア)PGS東日本クラブ対抗戦

◆ブロック予選

- A. 参加資格:東日本地区会員コースの何れかでPGS会員登録をし、JGA公認ハンディキャップを取得しているアマチュアゴルファー
- B. 競技方法
 - (a)18ホール・ストロークプレー、アンダーハンディ競技(JGA公認ハンディキャップ)
 - (b)ハンディキャップの下限 :男子部門20.0、女子部門30.0
 - (c)順位決定 :男子部門は出場選手の内、上位5名のネットスコア合計による
女子部門は出場選手の内、上位3名のネットスコア合計による
- C. 開催日・会場・出場クラブ

ブロック	出場クラブ	ブロック予選	開催日
Aブロック	グレースリッジ、那須野ヶ原、イーストウッド、ハーモニーヒルズ、JGM宇都宮、下館、うぐいすの森水戸、新玉村、前橋、紫あやめ	イーストウッドカントリークラブ	10月4日
Bブロック	千葉よみうり、新君津、昭和の森、清里、小淵沢、富士見高原、ウィーゴ、鹿島南蓼科、富士グリーンヒル	丘の公園清里ゴルフコース	10月3日
練習場ブロック	荒川、フラッグス、成城、グリーンパーク	那須野ヶ原カントリークラブ	9月25日

D. ブロック予選代表チーム

各ブロック2クラブ(1クラブ男子部門8名、女子部門5名)

注)決勝大会開催コース、前年度優勝クラブが上位2クラブに入賞した場合は、繰り下げて出場資格を付与する。

E. 参加者数

ブロック	クラブ数	男子	女子	合計
Aブロック	8	69	28	97
Bブロック	6	65	26	91
練習場ブロック	2	19	13	32
予選計	16	153	67	220
決勝	12	67	36	103
合計	28	220	103	323

◆決勝大会

- A. 開催会場 :新君津ベルグリーンカントリー倶楽部(千葉県)
- B. 開催日 :クラブ対抗戦 2022年11月1日(火) ※前夜祭は中止
- C. 参加資格 :①PGS東日本各ブロック予選の男女各上位2クラブ
②決勝大会開催クラブ、及び前年度優勝クラブより各男女2クラブ
- D. チーム編成 :1クラブ 男子部門8名・女子部門5名
- E. 競技方法 :ブロック予選と同様
- F. 参加者数 :別掲の通り

(イ)PGS中部日本ゴルフ場対抗戦

- A. 開催会場 :小杉カントリークラブ(富山県)
- B. 開催日 :クラブ対抗戦 2023年4月6日(木) ※前夜祭は中止
- C. 参加チーム : PGS 中部日本8コースより16チーム
- D. チーム編成 :1チーム8名(男女混合)
- F. 参加者数 :123名

(ウ)西日本パブリックゴルフ場チーム対抗戦

- A. 開催会場 :六甲国際ゴルフ倶楽部(兵庫県)
- B. 開催日 :2022年4月21日(木)
- C. 参加チーム : PGS 西日本コースを中心に16チーム
- D. チーム編成 :1チーム5名以上8名まで(55歳以上のシニア1名を含む)
- F. 参加者数 :125名

4.他団体競技のシード権の追加

公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)、関東ゴルフ連盟(KGA)他8連盟等にシード権の追加申請をしたが、シード権の新規付与はなし。

【2022年度他団体主催競技シード権一覧】

◆アマチュア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2021年度	2022年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本アマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	当年度	中部オープンゴルフ選手権決勝	1位	1位	中部地区在住者
			翌年度	中部アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	
<地区決勝>	東日本AB	北海道ゴルフ連盟	翌年度	北海道アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	北海道在住者
			翌年度	北海道アマチュアゴルフ選手権予選	2~10位	2~10位	北海道在住者 ※10位タイまで
			翌年度	北海道オープンゴルフ選手権	1位	1位	北海道在住者
		東北ゴルフ連盟	翌年度	東北アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	東北地区在住者
			翌年度	東北アマチュアゴルフ選手権予選	上位2名	上位2名	
			翌年度	東北アマチュアゴルフ選手権青森県予選	上位3~10位	上位3~10位	青森県在住者
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東アマチュアゴルフ選手権ブロック大会	1位	1位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
			翌年度	関東アマチュアゴルフ選手権予選	2~10位	2~10位	
		北海道日刊スポーツ新聞社	翌年度	日刊ア全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会	上位2名	上位2名	北海道在住者
			日刊スポーツ新聞社	当年度	日刊ア全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権関東決勝	1~2位	1~2位
	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部オープンゴルフ選手権決勝	1位	1位	中部地区在住者
			当年度	中部オープンゴルフ選手権予選	2~30位	2~30位	
			翌年度	中部アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	
			翌年度	中部アマチュアゴルフ選手権予選	2~30位	2~30位	
		関西ゴルフ連盟	翌年度	関西アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	関西地区在住者
			翌年度	関西アマチュアゴルフ選手権予選	2~10位	2~10位	
	西日本	サンケイスポーツ	当年度	近畿オープン	1位	1位	関西地区在住者
		中国ゴルフ連盟	翌年度	中国アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	中国地区在住者
		四国ゴルフ連盟	翌年度	四国アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	四国地区在住者
			翌年度	四国アマチュアゴルフ選手権予選	2~3位	2~3位	
九州ゴルフ連盟		翌年度	九州アマチュア選手権決勝	1位	1位	九州・沖縄在住者	
		翌年度	九州アマチュア選手権予選	2~5位	2~5位		

◆女子アマチュア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2021年度	2022年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本女子アマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中京TV・BS(公認LPGA)	翌年度	中京テレビ・ブリヂストンレディスオープン主催者推薦選考会	1位	1位	
<地区決勝>	東日本	東北ゴルフ連盟	翌年度	東北女子アマチュアゴルフ選手権	1位	1位	関東地区在住者
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東女子アマチュアゴルフ選手権予選	1~5位	1~5位	関東地区在住者
	中部日本	中部ゴルフ連盟	翌年度	中部女子アマチュアゴルフ選手権	1~20位	1~20位	中部地区在住者
		関西ゴルフ連盟	翌年度	関西女子アマチュアゴルフ選手権競技	1位	1位	関西地区在住者
	西日本	四国ゴルフ連盟	翌年度	四国女子アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	四国地区在住者

◆ミッドアマ選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2021年度	2022年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本ミッドアマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	翌年度	中部ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	中部地区在住者
<地区決勝>	東日本AB	北海道ゴルフ連盟	翌年度	北海道ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	北海道在住者
			翌年度	北海道ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	2～10位	2～10位	北海道在住者 ※10位タイまで
		東北ゴルフ連盟	当年度	東北ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	東北地区在住者
			翌年度	東北ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	1～5位	1～5位	
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	1～5位	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
	北海道日刊スポーツ新聞社	翌年度	日刊ア全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会	上位2名	上位2名	北海道在住者(男子のみ)	
	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	中部地区在住者
			翌年度	中部ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	2～20位	2～20位	
	西日本	関西ゴルフ連盟	当年度	関西ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	関西地区在住者
			翌年度	四国ミッドアマチュアゴルフ選手権	1位	1位	

◆女子ミッドアマ選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2021年度	2022年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
<地区決勝>	東日本	関東ゴルフ連盟	翌年度	関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	1～5位	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
			当年度	中部女子ミッドアマチュアゴルフ選手権	1～10位	1～10位	
	西日本	関西ゴルフ連盟	当年度	関西女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	1位	関西地区在住者

◆シニア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2021年度	2022年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本シニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	翌年度	中部シニアゴルフ選手権	1位	1位	中部地区在住者
<地区決勝>	東日本	東北ゴルフ連盟	翌年度	東北シニアゴルフ選手権	1位	1位	東北地区在住者
			翌年度	関東シニアゴルフ選手権予選	1～5位	1～5位	
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東シニアゴルフ選手権予選	1～5位	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部シニアゴルフ選手権決勝	1位	1位	中部地区在住者
			翌年度	中部シニアゴルフ選手権予選	2～20位	2～20位	
	西日本	関西ゴルフ連盟	翌年度	関西シニアゴルフ選手権決勝	1位	1位	関西地区在住者
翌年度			四国シニアゴルフ選手権決勝	1位	1位		

◆女子シニア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2021年度	2022年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	翌年度	日本女子シニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
<地区決勝>	東日本	関東ゴルフ連盟	翌年度	関東女子シニアゴルフ選手権予選	1～5位	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
			翌年度	中部女子シニアゴルフ選手権	1～20位	1～20位	
	西日本	関西ゴルフ連盟	翌年度	関西女子シニアゴルフ選手権	1位	1位	関西地区在住者

◆ミッドシニア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2021年度	2022年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本ミッドシニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	翌年度	中部ミッドシニアゴルフ選手権	1位	1位	中部地区在住者
<地区決勝>	東日本	東北ゴルフ連盟	翌年度	東北ミッドシニアゴルフ選手権	1位	1位	東北地区在住者
			翌年度	関東ミッドシニアゴルフ選手権予選	1～5位	1～5位	
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東ミッドシニアゴルフ選手権予選	1～5位	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
	中部日本	中部ゴルフ連盟	翌年度	中部ミッドシニアゴルフ選手権	1位	1位	中部地区在住者
			翌年度	中部ミッドシニアゴルフ選手権予選	2～20位	2～20位	
	西日本	四国ゴルフ連盟	翌年度	四国ミッドシニアゴルフ選手権決勝	1位	1位	四国地区在住者

◆グランドシニア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2021年度	2022年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本グランドシニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	当年度	中部グランドシニアゴルフ選手権	1位	1位	中部地区在住者
<地区決勝>	東日本	東北ゴルフ連盟	翌年度	東北グランドシニアゴルフ選手権	1位	1位	東北地区在住者
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東グランドシニアゴルフ選手権予選	1～5位	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部グランドシニアゴルフ選手権	1位	1位	中部地区在住者
		中部ゴルフ連盟	当年度	中部グランドシニアゴルフ選手権予選	2～20位	2～20位	中部地区在住者
	西日本	四国ゴルフ連盟	翌年度	四国グランドシニアゴルフ選手権	1位	1位	四国地区在住者

◆グランドマンスリー

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2021年度	2022年度	備考
<地区決勝>	当該地区	日本ゴルフ協会	当年度	JGA杯J-sysゴルフ選手権	4名	4名	男女各2名

5.機関紙の発行

創刊49年目を迎えた「PGSニュース」は、第90号(56ページ)を3月1日付にて発行した。当協会主催競技に関して、競技開催案内、年間競技スケジュール、競技の様様、競技成績等を盛り込んだ。機関紙発行事業は2014年度より独立行政法人日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けており、2022年度は18,300部を印刷、競技会の参加者と開催コース等に配付することができた。また、2022年度も、助成事業である「PGSニュース」に連動させる形でメールマガジンを月2回程度配信。PGS主催競技を始め、ゴルフに関する情報をアマチュアゴルファーに提供した。

■公益目的事業2 ゴルフ普及振興事業

1. セミナー・研修事業

(1) PGSセミナー
2022年度 中止

(2) グリーンキーパー研修会

日 時	2022年8月2日(水)	場 所	伊深の森カントリークラブ
テーマ1 発表者1	「全日本に向けての準備とコース管理状況」 伊深の森カントリークラブ 大口 郁夫		
テーマ2 発表者2	「ナイター照明工事について他」 ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部 堀田 信吾		

(3) ルール講習会
2022年度 未開催

2. 交流・協力事業

ゴルフ界を取り巻く環境は厳しいが、ゴルフ市場活性化のためにゴルフ界諸団体は連携・協力して様々な活動を展開する必要がある。この様な観点からゴルフ界諸団体と連携・協力して、ゴルフ市場の活性化に向けた活動を展開する。

(1) 日本ゴルフサミット会議

① 日本ゴルフサミット会議参加

	開催日	開催場所
2023年第1回	2023年1月23日	ANA インターコンチネンタルホテル東京

② ゴルフ新年会の開催 中止

③ 日本ゴルフサミット会議 運営会議参加

(2) ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)

① 当協会はゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の構成メンバーとして、「はじめよう、続けよう、もっとゴルフを」をスローガンにゴルフ業界の活性化に向けた活動をしている。近年は、20代・30代の若年層ゴルファーのゴルフ実施率を引き上げるべく様々な取組みを実施しており、当協会も各団体と連携し活動を行った。

② 定例委員会への参加(毎月1回)

③ ゴルフ市場活性化セミナーへの参画

(3) NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

同協議会の構成メンバーとして、ジュニアゴルファーの育成に連携して活動した。

(4) ジャパンゴルフフェア2023の後援・ブース出展

一般社団法人日本ゴルフ用品協会主催の第57回ジャパンゴルフフェア2023が、2023年3月10日(金)～12日(日)の3日間、パシフィコ横浜において開催された。当協会は本イベントを後援するとともに、ブース出展を通じて事業活動のPRを実施した。

3.調査・研究事業

(1)調査事業

【調査・研究実績】

調査・研究内容	調査対象
使用ボール調査	スクランブル参加者
スポンサー杯参加者アンケート	スポンサー杯参加者

4. 他団体との協賛・後援

(1)一般社団法人日本ゴルフ用品協会に対し後援 :第57回ジャパングルフフェア2023

(2)他団体競技の後援

競技名	主催者
日刊アマゴルフ2022 全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会、 全日本レディースゴルフ選手権北海道大会	北海道日刊スポーツ新聞社
第13回ウッドフレンズレディース アマ・プロゴルフ選手権競技 女子プロ・研修生の部、女子アマチュアの部	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部

■その他の事業1 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業

1.ハンディキャップ普及振興事業

(1)JGA公認ハンディキャップ取得者について

当協会のJGA公認ハンディキャップ取得者は約13,000名で、高額なゴルフ会員権の取得を必要とせず、誰でも低廉な登録料でPGS会員になることにより、手軽に取得できる点から多くのアマチュアゴルファーの支持を得ている。

【参考:JGA 公認ハンディキャップ取得者の推移】

単位：名

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
18,023	18,145	16,958	15,516	15,833
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	(前年度比)
14,312	12,257	12,668	12,944	+276

【参考:JGA 公認ハンディキャップの導入状況】

2006年4月現在(導入率72%)

	東	中部	西	合計
会員数	33	11	42	86
JGA採用	31	10	21	62

⇒

2023年4月現在(導入率96%)

	東	中部	西	合計
会員数	19	8	27	54
JGA採用	18	8	26	52

(2)競技開催実績

新規ゴルファーの獲得と更なるハンディキャップの普及を目的に、気軽に競技を楽しむことが出来るよう、スクランブル方式の「全日本スクランブルアマチュアゴルファーズ選手権」や、2名1組で参加出来るダブルス競技を東日本と中部日本地区で開催し、更なる普及に努めた。また、社会人ゴルファーを対象とした「全日本ビジネスゴルファーズ選手権」は、2022年度より地区決勝を新設し、より多くのゴルファーが参加出来る環境を整えた。更に、ハンディキャップでクラス分けを行い、クラス毎に競う「PGSチャリティー東日本スクラッチアマチュアゴルファーズ選手権」、「PGS中部日本ガチごる5」を新設し、ハンディキャップ取得者拡大に繋がる取組みを行った。

①全日本スクランブルアマチュアゴルファーズ選手権

ア. 参加資格:【チーム戦】4名1チームにて構成できるアマチュアゴルファー

【ダブルス戦】2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー

【混合ダブルス戦】男女2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー

イ. 競技方法:18ホール・オリジナルスクランブル方式によるチーム戦並びにダブルス戦

ウ. 開催数

予選:137開催(東日本54、中部日本23、西日本60)

地区決勝:30開催(東日本12、中部日本6、西日本12)

決勝:6開催

全日本:3開催

エ. 参加者数

予選:2,294名(東日本881、中部日本531、西日本882)

地区決勝:1,184名(東日本484、中部日本284、西日本416)

決勝:592名

全日本:286名

合計:4,356名

②PGSチャリティー東日本パブリックダブルスゴルフ選手権

ア. 参加資格:2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー

- イ. 競技方法:【ベストスコアダブルス戦】
フォアボール(ベストスコア)方式/18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)
- 【スクランブルダブルス戦】
オリジナルスクランブル方式/18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)
- ウ. 開催数:予選:14開催、決勝:2開催
- エ. 参加者数:予選:138名、決勝:76名、合計:214名

③PGS中部日本パブリックダブルス選手権競技

- ア. 参加資格:【一般の部】2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー(年齢制限無し)
- 【シニアの部】60歳以上の2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー
- 【ミックスの部】男女2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー
- 【女子の部】女子2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー(決勝のみ)
- イ. 競技方法:フォアボール(ベストスコア)方式/18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)
- ウ. 開催数:予選:12開催、決勝:4開催
- エ. 参加者数:予選:110名、決勝:83名、合計:193名

④PGSチャリティー東日本スクラッチアマチュアゴルファーズ選手権

- ア. 参加資格:JGA 公認ハンディキャップを取得しているアマチュアゴルファー
- 【ブラッククラス】 ~9.9
- 【ブルークラス】 10.0~19.9
- イ. 競技方法:18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)
- ウ. 開催数:予選:14開催、決勝:2開催
- エ. 参加者数:予選:120名、決勝:69名、合計:189名

⑤PGS中部日本ガチごる5 ~クラス別スクラッチ選手権~

- ア. 参加資格:JGA 公認ハンディキャップを取得しているアマチュアゴルファー
- 【G-1クラス】 オープン 【G-2クラス】 10.0~14.9
- 【G-3クラス】 15.0~19.9 【G-4クラス】 20.0~24.9
- 【G-5クラス】 25.0以上
- イ. 競技方法:18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)
- ウ. 開催数:5開催
- エ. 参加者数
G-1:11名、G-2:6名、G-3:12名、G-4:5名、G-5:3名、合計:37名

⑥全日本ビジネスゴルファーズ選手権

- ア. 参加資格:年齢25歳以上の社会人アマチュアゴルファー
- イ. 競技方法:18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)
- ウ. 開催数
予選:16開催(東日本7、中部日本1、西日本8)
全日本:1開催
- エ. 参加者数
予選:936名(東日本425、中部日本73、西日本438)
全日本:152名
合計:1,088名

2. JGAコースレート査定事業

公平な統一ハンディキャップであるJGA公認ハンディキャップの普及振興のためには、その前提としてゴルフ場のコースレーティングが正確に査定されている必要がある。当協会はコースレート査定を管轄する公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)に対してコースレート査定を希望する会員コースの依頼に基づき、同協会への申請窓口として機能している。

2022年度は、以下のコースでコースレート査定を実施した。

【コースレート査定実施コース】

コース名	理由	査定日	有効期限
小淵沢カントリークラブ	10年経過	2022.10.27	2031 年末
鹿島南蓼科ゴルフコース	10年経過	2022.7.6	2031 年末

■その他の事業2 助成金事業

本事業はゴルフの普及振興のために活動する団体に対して、助成金事業を実施するものである。

1.NPO法人日本ジュニアgolfer育成協議会(JGC)

当協議会はゴルフをツールに児童・青少年の健全な育成を目的に活動している。ジュニアgolferの育成は青少年の健全育成、並びにgolferの底辺拡大の観点から首肯でき、同協議会の活動目的に賛同して助成金事業を実施し活動をバックアップしてきた。2011～2012年度は休止したが、2013年度より復活した。

■むすび

1.2022年度事業の回顧と今後の展望

コロナ禍の影響により、大幅に参加人数が減少した2021年度に比べ、2022年度選手権競技は、11,496名となり、1,131名(10.9%)の増加となった。アンダーハンディ競技は、7,080名(前年度比+0.5%)、その他競技についても開催数の増加により、全競技参加者数は29,193名(前年度比+8.6%)となった

競技参加者数の拡大は引き続き重要な課題である。今後も、徹底した安全対策を取り、競技会を開催していく。また、メイン競技のアマチュアgolferズ選手権をはじめとする競技参加者数減少に歯止めをかけるためにも、今後もアマチュアgolferのあらゆるニーズに応え、加盟コースとの連携、協力に加え、関係団体との連携をより一層深め、様々な競技会を開催し、全てのgolferのための活動に取組み、競技golferの拡大を目指すとともに、ゴルフ人口の裾野拡大を目指していきたい。

また、協会方針に沿った一般ゴルフ未経験者や小中学生へのゴルフ授業など、ゴルフ普及活動に取り組んでいる地方自治体への活動支援は、本年度も継続して実施しており、ゴルフ他団体との連携を取りながら行政等への協力を図っていきたい。

事業報告書の附属明細書

■役員その他の法人等の業務執行理事との重要な兼職の状況

2022年3月現在

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	関係
理事(代表理事)	池田 育嗣	住友ゴム工業株式会社	取締役会長	
理事	石井 信成	株式会社那須野ヶ原カントリークラブ	代表取締役社長	
理事	加藤 義孝	東名ゴルフ株式会社	代表取締役社長	
理事	西村 潔	株式会社京阪ゴルフ倶楽部	代表取締役	
理事	橋本 誠司	読売ゴルフ株式会社	代表取締役社長	
理事	小柴 雅央	株式会社チュウブ	代表取締役社長	
理事	樋口 光平	株式会社大阪パブリックゴルフ場	代表取締役社長	
理事	平川 義和	柏泉グリーン開発株式会社	代表取締役社長	
理事(専務理事)	林 一郎	公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟	理事	
理事	伊藤 哲夫	伊藤公認会計士事務所	公認会計士	
理事	濱野 周泰	一般財団法人日本緑化センター 公益財団法人都市緑化機構 特定非営利活動法人花と町三鷹創造協会 特定非営利活動法人社叢学会	理事 評議員 理事長 副理事長	
理事	平山 伸子	公益財団法人日本ゴルフ協会	理事	
監事	根津 淳	株式会社ウィーゴカントリー倶楽部	代表取締役社長	
監事	六車洋二郎	株式会社コート・ベール徳島 公益社団法人阿南法人会	代表取締役社長 会長	

注)当協会にとって兼職先法人等が重要な法人である、並びに当該役員が兼職先の法人等で重要な職務を担当している場合を記載している。

■その他の記載事項

(1)定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項

①正味財産の増減の状況及び財産の増減の推移について補足すべき重要な事項

ア. 経常増減の部

2022年度は2021年度よりも競技参加人数は増加した。助成金、寄付金を活用し11,796千円の黒字となった。

(2022年度経常増減の部の主たる黒字要因)

◎競技参加料収益の増加 :3,829千円

◎助成金収入:3,713千円

◎寄付金収入:3,572千円

イ. 経常外増減の部

2022年度は無し。

ウ. 正味財産増減額

以上の結果、正味財産増減額の推移は、2020年度は20,083千円の赤字。2021年度は3,531千円の黒字。2022年度は11,796千円の黒字。正味財産期末残高は2022年度末現在74,868千円となった。

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
会長(代表理事) 池田 育嗣



■監事の監査報告事項

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第13期事業年度の、理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果につき以下の通り報告致します。

1. 監事の監査の方法及びその内容

- 一 監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況に関する報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。今回は、書面等を活用した監査を実施し、当該事業年度に係る事業報告及び関係書類、並びに会計帳簿等、計算書類及び附属明細書につき検討致しました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書が法令又は定款に従い当該法人の状況を正しく示しているかどうかについての意見
 - 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い協会の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 計算書類及びその附属明細書は、法令及び定款に従い協会の財産及び損益の状況を、正しく示しているものと認めます。
- (2) 当該法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令違反若しくは定款に違反する重大な事実があったときは、その事実
 - 一 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 監査のための必要な調査ができなかったときは、その旨及びその理由
 - 一 監査のための必要な調査を実施致しました。
- (4) 内部体制の整備についての決定又は決議(監査の範囲に属さないものを除く。)がある場合において、当該事項の内容が相当でないと認めるときは、その旨及びその理由
 - 一 当協会は、「業務の適正を確保するための体制等」に関する理事会決定又は、決議は2016年6月23日開催の2016年度第2回理事会にて決議した内容に相当であると認めます。

3. 監査報告を作成した日

- 一 2023年5月19日

2023年5月19日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

監事 根津 淳



監事 六車 洋二郎



監事 中村 一雄

